小学校

自分の木

○目標となる資質・能力

自尊感情・自己効力感、思いやり・他者理解

○指導のねらい

自分の木を見つけて、お互いに紹介し合う活動を通して、自分を他者の視点から見つめ直して自分の存在を肌で感じさせ、自尊感情や思いやりの心を育む

○準備するもの

ワークシート×児童数

○教育課程、実施時期

特別活動、遠足や宿泊行事などでも行える

○留意点など

屋外での活動なので、安全に行えるように十分留意すること

展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	1 本時の目標を知り、学習の見通しを持つ	・屋外の活動のルールをしっかりと伝達する
	じぶんの木をさがそう！	
展開 35分	2 活動を行うための準備を行う ・目を閉じて、聞こえる音に集中する ・素足になり、地面の感覚を確かめる	・何の音かではなく、どんな音かを聞かせる ・何を踏んだかではなく、どんな感じであるかを確かめさせる
	3 「自分の木」を見つける活動を行う 見つけたらその木をじっくりと見つめ、ワークシートに記入する	・危険な場所や、他人に迷惑をかける場所に行かないように注意を促す ・集合時間と場所を守らせる
	4 ペアになり、お互いの「自分の木」を紹介し合う	・木の種類や生えている場所などは言わないようにする
	5 ペアの相手の「自分の木」を探しに行く	・当てることが目的ではないので、すぐに正解を教えてあげて、木の紹介に時間を取るように指示する
まとめ 5分	6 本時の学習を振り返り、感想を発表する	・自分の木も、友だちの木も大切であるように、自分も友だちも大切な存在であることを教示する

参考

○本時のねらいについて

自然とのふれあいの中で、自然と自分を一体化させ、客観的に自分を見つめ直す経験と、友だちに語り、共有する経験をすることで、自尊感情と思いやりの心を育むことをねらいとしている。低学年を対象としているが、中学年や高学年の宿泊行事などで実施することも想定している。

○「活動を行うための準備を行う」について

「自分の木」を見つけるために、まずは気持ちを落ち着かせる。五感を研ぎ澄まし、自然との交流を通して自分を見つめるために、普段は気にしない自然界の音や、肌触り、暖かさ、冷たさ、堅さ、柔らかさ等を感じさせる。素足になるので怪我のないように十分留意すること。他にも、芝生の上に大の字で仰向けになってみたり、海や花畑の近くならば目を閉じて香りを感じてみたりしてもよい。

○『自分の木』を見つける活動を行うについて

なんとなく自分と似ている、親しみがあると感じられる木を探させる。移動しても良い範囲、集合場所、集合時間、トラブルがあったときの対処法などを事前に確認し、安全には十分に留意する。「自分の木」がどうしても見つからない児童には、「自分が好きだと思う木でもいいよ」や「自分が木になるとしたらどの木になりたいかな」などと声をかけ活動を促す。見つけたら、その木をじっくり見つめながらワークシートに記入させる。

○「ペアになり、お互いの『自分の木』を紹介し合う」について

ペアをつくり、記入したワークシートを使ってお互いに「自分の木」の説明をする。その木の特徴や、「自分の木」だと思った理由について説明させ、木の種類や場所は言わないようにさせる。

○「ペアの相手の「自分の木」を探しに行く」について

4の説明を元に、ペアの相手の「自分の木」をペアで探しに行く。当ててもらった児童が相手をその場所まで連れていき、どの木かを当ててもらいようにする。当てる児童には、なぜその木だと思ったのか理由も付け加えさせるとよい。当てることが目的ではなく、「自分の木」をお互いに紹介し合い、尊重し合うことが目的なので、1つ答えて間違えたら正解を言わせるようにするとよい。時間があれば、「自分の木」のスケッチをさせて、教室掲示等で紹介し合えるとよい。

資料

参考文献 「心の健康教育プログラム」

じぶんの木をさがそう

ねん くみ 名まえ：

1 この木を「じぶんの木」とおもった、りゆうはなんですか？

2 「じぶんの木」はどんな木ですか？

「じぶんの木」の大きさは？

「じぶんの木」のかたちは？

さわったり、においをかいだりすると、どんなきもちになりますか？

「じぶんの木」はあなたになんていっていますか？

「じぶんの木」になんていってあげたいですか？